

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成30年2月5日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (河川・湖沼における環境DNA活用技術に関する共同研究)

国立研究開発法人土木研究所では、今年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当にお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

河川・湖沼における環境DNA活用技術に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成30年3月(予定)
担当： 水環境研究グループ 河川生態チーム	～ 平成33年3月
<u>共同研究の目的(必要性)</u> 水や土壌に含まれる生物の組織片からDNAを抽出し、生物情報を得る環境DNAの利用は、遺伝子分析技術の高度化に伴い急速に拡大しつつある。本技術は、実際の河川や湖沼における生物調査への応用が期待されている一方で、その量や質には、調査地の物理環境、対象生物の個体数や成長段階など多くの要因が関与するなど、実用化にあたり明らかにすべき領域が多く残されている。今後、本手法を河川管理の実務に反映していくためには、現場で想定される課題を抽出し、実験施設を用いた基礎的な検討、現地における検証実験等を通じ、現地の状況に応じた調査方法や調査時期・頻度などを示していく必要がある。 本共同研究では、実際に現場で調査を担う民間と連携し、河川管理の実務における環境DNAの活用を想定した検討を行うことにより、より汎用性の高い活用技術とすることを旨とする。	
<u>共同研究の内容</u> (1) 河川における環境DNAの動態解明 (2) 環境DNAを活用した河川環境調査の提案	

2. 募集期間 **平成30年2月5日(月)から平成30年3月5日(月) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 崎谷 和貴 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チーム 上席研究員 萱場 祐一 主任研究員 村岡 敬子 電話 029-879-6775

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

下記①②の条件の双方を満たし、本共同研究の遂行のために適切な人員配置が可能であり、かつ必要となる費用を分担できること。

なお、①、②に該当する業務の担当者は同一人物である必要はない。

- ① 受注業務もしくは自社研究において、河川もしくは湖沼において環境 DNA を取り扱った実績があると同時に、当該案件を担当したものが共同研究に参加できること。
- ② 過去 5 年間に、国土交通省管轄もしくはこれに準ずる河川における生物調査の業務を請け負った実績があると同時に、その業務を担当したものが共同研究に参加できること。

< 参加者数 >

合計1～5社程度を想定。

< 参加者の選定方法 >

書面審査およびヒアリングを行い、本共同研究の遂行に十分な技術力および研究・業務実績を有するとともに、円滑な研究の実施と高い成果をあげる可能性が期待できる共同研究者を上位から選定する。

6. その他

- ・ 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式・記載方法等につきましては、土木研究所ホームページ (<http://www.pwri.go.jp/>) に掲載しております。
- ・ 申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。なお、書類審査において、記載事項に誤り、不足等が見つかった場合は、訂正、追加書類の添付等を求める場合があります。
- ・ 本共同研究においては、各者で実施する研究分担部分に係る費用については、各者で負担していただきます。（土木研究所から共同研究者に対し、費用をお支払いすることはできません。）

7. 担当者

水環境研究グループ 河川生態チーム

萱場・村岡（TEL：029-879-6775）